

横浜の水道に関する意識調査

【調査の目的】

水道をご利用いただいている方の水の使用状況や水道事業に関するお考えなどを伺いより質の高い水道サービスの提供を検討するために実施

【調査の概要】

調査項目:水道事業に関する26問(うち2問は事業所のみの調査項目)

調査地域:横浜市全域

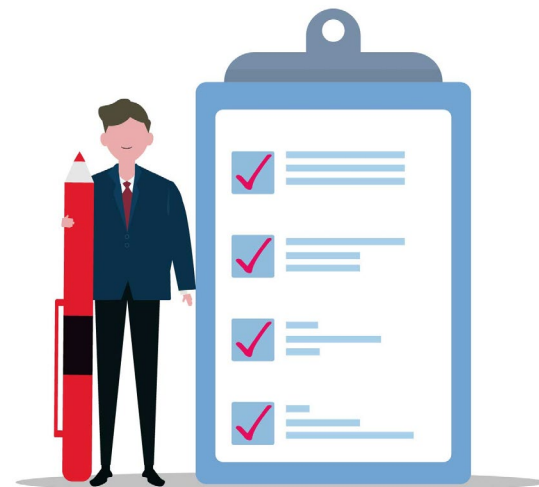
調査対象:横浜市内に居住する18歳以上の方 4,000人

抽出方法:住民基本台帳からの無作為抽出

調査方法:郵送配布、郵送回答又はインターネット回答によるアンケート方式

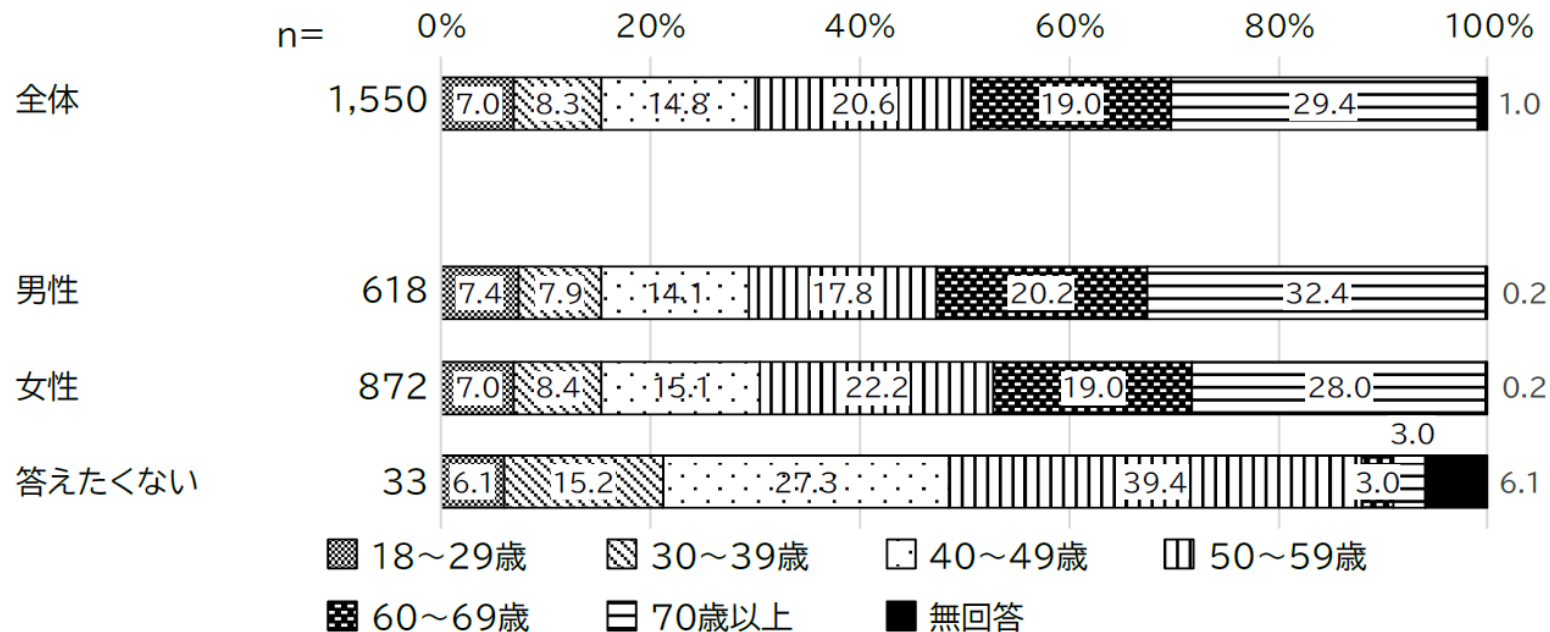
調査期間:令和7年9月1日(月)～9月16日(火)

有効回答数:1,550標本(回収率 38.8%)



横浜の水道に関する意識調査

回答者の性別と年齢



横浜の水道に関する意識調査

ア 横浜市の水道事業についての満足度

「満足」「どちらかといえば満足」を合わせた割合

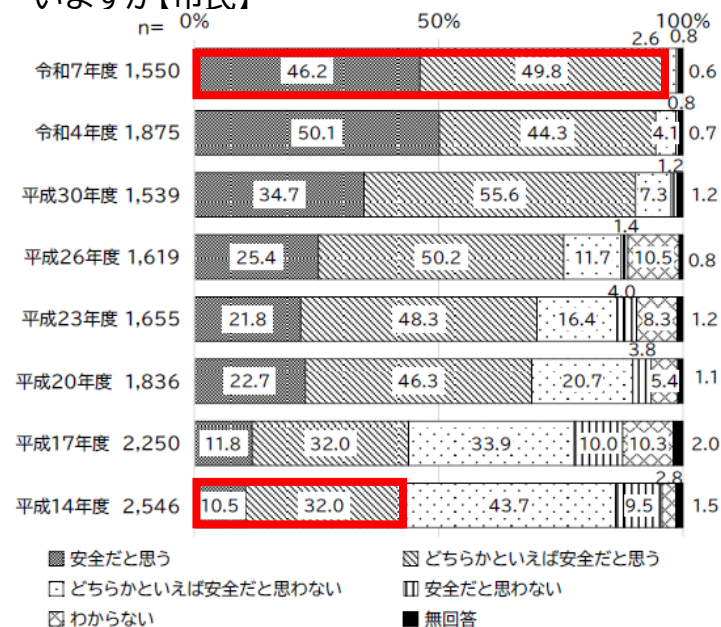
市 民 93.4% (令和4年度の調査より5.0%↑)

事業所 91.3% (令和4年度の調査より1.7%↑)



イ 各設問の回答(抜粋) 単位:%

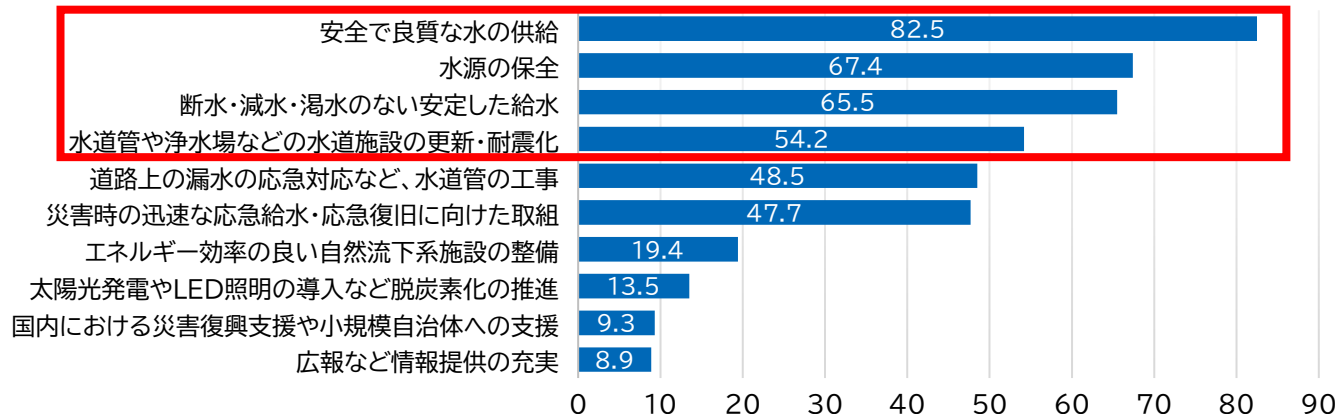
① 横浜市の水道水の安全性について、どのように感じていますか【市民】



⇒平成14年度以降、「安全だと思う」「どちらかといえば安全だと思う」を合わせた割合が増加

横浜の水道に関する意識調査

② 今後、特に力を入れるべきと思う事項【市民】



- ③ 物価の上昇等により、更新・耐震化のペースを維持、あるいはスピードアップするためには、これまで以上に費用がかかることになります。これらの費用は水道料金によってまかなわれていますが、水需要の減少により水道料金収入が減収していくことが見込まれています。このことを踏まえて、更新・耐震化のペースについて、考え方に最も近いものをお聞かせください。【市民】

